

---

# 文学少女と霧中の饗宴 三題噺

紫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

文学少女と霧中の饗宴 三題噺

### 【コード】

N0286R

### 【作者名】

紫

### 【あらすじ】

@gamesサークル、「文学少女と霧中の饗宴」のスレッド、「文学少女」の本日の噺「三題噺をUPしていきます。」

？「黒板」「莓」「お絵かき」(前書き)

設定が暗くないお話の難しさにちよつと絶望し掛けました。

設定が暗くても難しいのに変わりはありませんがねっ！

？「黒板」「莓」「お絵かき」

窓の外に、桜が雨の様に舞い落ちて行くのが見える。教室の外には大きな桜の木があつて、三階の窓から見えるのは、視界のいっぱいいっぱいまで広がる桜の花びら。僕はおもむろにスケッチブックと色鉛筆を取り出し、その画面いっぱい目の前の光景を描きつけた。誰の居ない教室も、何も描いていないまっさらな黒板の真ん中に磁石で貼り付け、今日限りの子の部屋に無言の別れを告げていた。

コツン。突然、後頭部に何か当たつた。振り返ると、一人のクラスメイトが立っていた。足元を見てみると、莓のキャンディが一つ、転がっていた。彼女は僕に歩み寄り、キャンディを拾い上げる。僕にそれを手渡した。それから、…笑つた。

ちゃんと言葉を交わした事は、ほとんどなかった。目を合わせた事も、意図的にはなかった。そんな僕に、彼女は笑いかけた。ずっと遠くで見ていただけだったのに、今は？手を伸ばせば届いてしまふ、そんな距離。けれど、触れることはできない。絶対に、できない。すごく近いのに、今まで以上に遠く感じる。

「これ、君が描いたの？」

話しかけられた。驚いてとっさに、ああ、とだけ返事をした。

「すごい。…綺麗だね。」

「窓の外見たら、もつと綺麗だと思うよ。」

そっけないへんし。こんな態度とりたいわけじゃないのに、顔を

上げられない。目を見る事が出来ない。

「本物はすぐ散っちゃうから…。」

何か、すごく寂しそうな眼をして、俯き加減で答える。僕にはよくわからなかった。すぐ散っても来年にはまた咲くのに、そう思った。確かに同じ種類でも違う花ではあるけど、同じ様に咲くんた。

「…ねえ、この絵、私が貰っちゃ駄目、かな…？」

「別にいいけど。」

「本当？ありがとう。…私ね、君と一回、ちゃんと話してみたかったんだ。今日で終わりだし、偶然ここに居たから、話しかけてみたの。返事してくれるかは、ほとんど賭けだった。」

僕と？どうして？疑問が頭を巡る。一つの希望、打ち消す。そんなはずがない。また浮き上がる。打ち消す。繰り返す。

最初で最後のチャンス。伝える？好きでしたって？僕にできる？…それとも、このままあわよくば連絡先でも交換して、友達に？

「…あのさ、」

言いかけた言葉、鳴り響くチャイム。最終下校時刻。

「何？」

力が抜けてしまった。軽く笑って、さっきまで言おうと思っていた事と別の事を告げる。

「…何でも。…またいつか、あった時とかはさ、声くらいかけてくれよな。無視とかは寂しいし。」

「うん、…また、ね。」

なんとなく、寂しそうな顔に見えた。それは僕の頭が勝手に作りだした、都合の良い妄想？解らない。

もう一度笑って、手を振って立ち去る。もう一度、一人きりになった教室。僕は自分の手の中に残された一つのキャンディを口に入れた。

「…甘酸っぱい。」

苺味の、キャンディを。

？「黒板」「莓」「お絵かき」(後書き)

我ながら滅茶苦茶痛いですね。

気持ち悪過ぎて鳥肌ですよ、寒気がしますガクブル。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0286r/>

---

文学少女と霧中の饗宴 三題噺

2011年10月5日22時18分発行